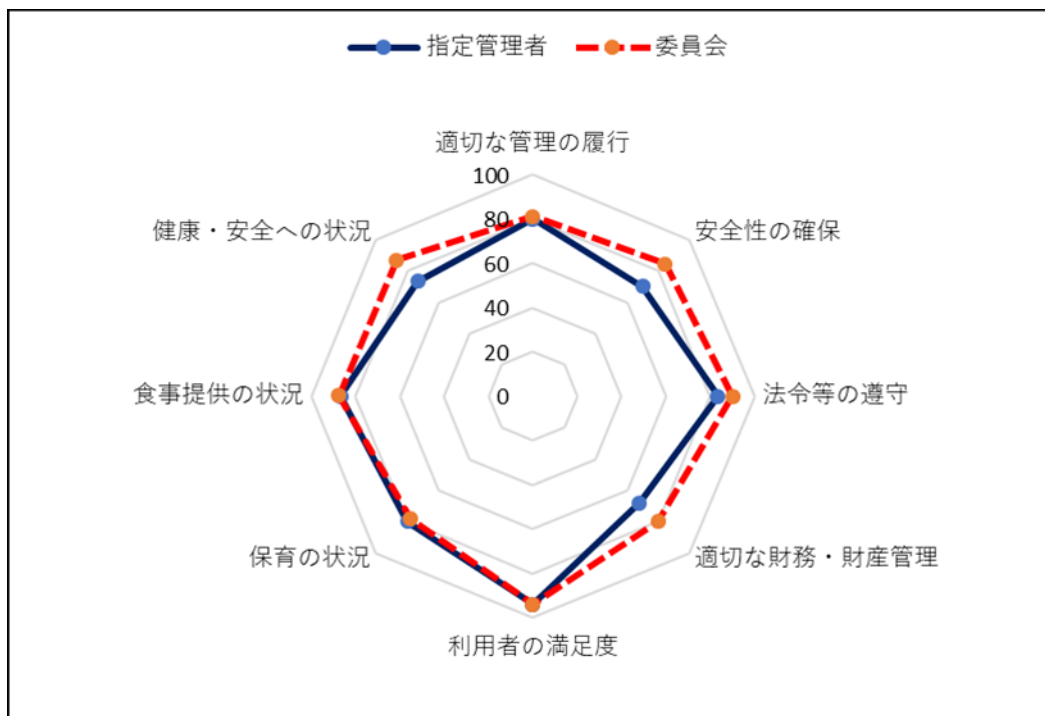


さつき保育園 評価シート

【 指定管理者 】 社会福祉法人江北会

【 評価対象年度 】 令和4年度：令和4年4月1日～令和5年3月31日



評価委員会意見	①全体的に良く取り組まれている。 ②保育内容をはじめ利用者から高い評価が得られている。 ③食物アレルギーに関して、マニュアルに沿った対応を徹底すること。
---------	--

評価結果	評価委員	
	得点	評価
	282	A

ランクダウン
有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

総合評価
A

※評価結果は評価委員会が行う。
 ※小数点以下は切り捨て、整数とする。

評点	満点	標準点	評価基準						
			A+	A	A-	B+	B	B-	C
評価委員 指定管理者 区担当課	330	198	297点以上	274点以上 297点未満	248点以上 274点未満	212点以上 248点未満	195点以上 212点未満	179点以上 195点未満	179点未満
得点率			90%以上	83%以上 90%未満	75%以上 83%未満	64%以上 75%未満	59%以上 64%未満	54%以上 59%未満	54%未満

※「標準点」…評価項目が全て「6割」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
 (参考)

指定管理者		区担当課	
得点	評価	得点	評価
266.0	A-	282.5	A

令和5年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特になければ記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点			
管理状況	適切な管理の履行	基本協定書に基づき適切に施設管理・人材の管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員	
		1 施設・設備の保守点検	×2	×2	×4	
		(1) 冷暖房機保守点検（年1回）、FF暖房機保守点検（年1回）、消防用設備保守点検（年2回）、非常通報システム保守点検（年4回）、小荷物専用昇降機保守点検（年4回）、計量器定期検査（2年に1回）	4	4	4.05	
		2 施設の清掃等	4	4		
		(1) 園舎内自主清掃（毎日）、壁面、天井、照明器具、誘導灯、天井扇清掃（年1回）、換気扇・フード、オイルフィルター、ダクト清掃（年2回）、窓ガラス・エアコンフィルター清掃（年3回）、グリストラップ清掃（年3回）、排水溝清掃（年1回）、ゴキブリ駆除（年2回）	4	4.2		
	3 備品等の保守点検	4	4.2			
	合計点(満点20点)			16.0	16.2	16.20
	指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】</p> <p>1 施設・設備の保守点検</p> <p>①基本協定書に基づき実施。</p> <p>②保守点検計画を作成し適切に清掃や点検を進めている。</p> <p>2 施設の清掃等</p> <p>①施設の清掃は毎日、園舎内外の自主清掃を行い、年2回の大掃除では壁面、天井等の清掃を実施。</p> <p>②エアコンフィルターは毎週土曜日に清掃している。</p> <p>③グリストラップ清掃は業者に委託し（年3回）職員も年に数回行っている。</p> <p>④排水溝清掃はプール、水遊び前に職員が行い、実施後業者にマス清掃を委託している。</p> <p>3 備品等の保守点検</p> <p>①園児布団は定期的買い替えている（0歳児は0歳専用布団。1歳児からは新しい布団に名前を付け、マイ布団として幼児クラスまで使用）。</p> <p>②年6回専門業者による布団乾燥を行い衛生的な状態を保っている。</p> <p>③布団乾燥の際、園児布団以外の布団（保健室等）や布製の玩具も乾燥・消毒している。</p> <p>④樹木剪定は年2回業者に委託しているほか、職員が蔓や枝がのびて歩道を通る方の迷惑にならないように定期的手入れをしている。</p> <p>【改善すべき点・課題等】</p>				
	担当課記入欄	<p>【特記事項】</p> <p>1 施設・設備の保守点検、2 施設の清掃等、3 備品等の保守点検 規定回数以上の実施を確認。</p>				
	評価委員記入欄	<p>【評価すべき点】</p> <p>適切に点検が行われており、清掃も行き届いている。</p> <p>【改善すべき点】</p> <p>【その他注意点】</p>				

令和5年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
管理状況	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか			
		4 施設・設備の安全の確保	×2	×2	×6
		(1) 園舎火災警備点検（毎月）、園庭固定遊具安全点検（年1回）、AEDの保守（2年に1回）	3	4	4.22
		5 防災の取組			
		(1) 防火管理者を設置し、消防計画等を策定している (2) 訓練年間計画に基づき月1回以上防災訓練を実施している	3	5	
		6 防犯の取組			
		(1) 施設内外を巡回し、異常等の有無を業務日誌等に記録している (2) 不審者・不審物等対応訓練を実施している (3) 鍵管理マニュアルを策定し、適正に管理している	4	4.3	
		7 事故への対応	×2	×2	
		(1) 危機管理マニュアル等を策定し、全職員に周知している (2) 区の30分ルールを遵守し、全職員に周知している (3) 事故の発生に対して適切に対応している	4	4	
		合計点(満点30点)	21.0	25.3	25.32
指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】</p> <p>5 防災の取組</p> <p>①年間避難訓練計画に基づき訓練を実施。 ②令和4年12月より訓練記録を見直し各クラスの様子や反省等を記入するようにし、反省を次の訓練に活かしている。 ③早番、遅番、土曜保育時の訓練も実施し、いつもと違う体制や職員（パート職員含む）での訓練の様子は会議で報告している。</p> <p>6 防犯の取組</p> <p>①不審者侵入対応訓練実施後は警察の方のアドバイスや反省を記録に残し、いざという時の対応に備えている。 ②不審者侵入時の合言葉と手順を事務所の放送機器の所に貼り、緊急時の放送に備えている。</p> <p>7 事故への対応</p> <p>①事故防止及び事故発生時マニュアルに散歩の項目を加えた。 ②年度当初の会議でマニュアルを使い、事故防止や事故の対応、足立区の30分ルールについて周知している。 ③事件事故報告書は朝礼や会議で報告し、事故原因や再発防止策について全職員に周知している。</p>				
担当課記入欄	<p>【特記事項】</p> <p>5 防災の取組</p> <p>保育園のある棟の棟長に相談し、水害の恐れがあるときには予告なく上階に上がれるようにしており、その訓練も実施している。</p>				
評価委員記入欄	<p>【評価すべき点】</p> <p>設備の安全確保に加え、危機管理意識も園全体に徹底されている。</p> <p>【改善すべき点】</p> <p>【その他注意点】</p>				

令和5年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特になし場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点			
			指定管理者	担当課	評価委員	
管理状況	法令等の遵守	個人情報保護、職員の労働条件の保護等は遵守されているか				
		8 個人情報保護の取り組み (1) 個人情報保護の取り組みについて園のルールとして定め、保護者等へ周知している	×2 4	×2 4	×6 4.50	
		9 個人情報事故への対応 (1) 個人情報の漏えいや個人データの紛失事故等を未然に防ぐ十分な対策を取っている (2) 事故が発生している場合、原因究明と対策を行い、事故を公表している	4	5		
		10 職員の労働条件の保護 (1) 労働基準法及び最低賃金法、足立区公契約条例を遵守している (2) 勤務状況関連の帳簿や台帳を整備している (3) 保育士等基準以上の人員を配置している	5	4		
		11 職員研修 (1) 研修の機会を確保している (2) 研修の成果を活用している	×2 4	×2 5		
		合計点(満点30点)			25.0	27.0
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 9 個人情報事故への対応 ①年度初めに会議で園長より個人情報の保護について説明がある。 ②USBメモリは事務所で一括管理し、使用するときは管理者に声を掛けることにしている。 11 職員研修 ①職員保育マニュアルや教育保育のガイドラインを使い職員研修を行い全職員で周知徹底している。 ②園内研修計画、職員ごとの研修計画を作成している。 ③オンデマンドの研修が増え、より多くの職員が受講できた。 ④研修後は研修報告を書き、会議で報告したり回覧して学びや情報を共有し、専門性の向上につなげている。 ⑤令和4年度の園内研修のテーマは『咀嚼』とし、クラスの課題や個別の状況に対して、配慮と対応を学んだ。 ⑥月に1回もぐもぐ週間を設け、給食担当者が各クラスに『噛む』ことの大切さを伝えた。 ⑦保護者には園だよりに掲載したり給食時の写真をコミュニティボードに掲示して『噛む』ことに関心を持ってもらえるようにした。 ⑧令和5年度は毎月の献立にかむかむDAYを設けている。 ⑨キャリアアップ研修は10名受講				
		【改善すべき点・課題等】 10 職員の労働条件の保護 ①園児の健全な育成にはしっかりとした保育者が必要と考えている。 ②女性が多くいる職場で長く勤務するうちに結婚や出産等に代替の職員を必要とするが、引き続き職員が働きやすい職場づくりをしていきたい。				
		【特記事項】 8 個人情報保護の取り組み 初回の職員会議で園長から職員全員に個人情報についての説明を実施しているほか、職員保育マニュアルや教育保育のガイドラインに基づき人権や個人情報保護についての研修を定期的実施している。				
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 ①個人情報に対する職員への意識啓発ができています。 ②職員研修にも力を入れている。				
【改善すべき点】						
【その他注意点】						

令和5年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
管理状況	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員
		1 2 委託料の健全な運用 (1) 園の収支が健全な状態である (2) 委託料は経理等通知に従って適正に処理している (3) 委託料の経理は、当該園の特別会計を設けて他の会計と区別している	×3 3	×3 4	×5 4.00
		1 3 委託料残額の取扱い (1) 委託料の残額の取扱いを明確にしている	×2 4	×2 4	4.00
		合計点(満点25点)	17.0	20.0	20.00
		【アピールポイント】			
	指定管理者記入欄	1 3 委託料残額の取扱い ①長期計画で今まで、園庭の砂の入れ替え、花壇の土の入れ替え、ウイルス除去の為全クラスにプラズマクラスターを設置、全保育室の床暖房化、テラスをタイル張りから滑らない様にゴムチップに張替え、外水道のタイルをけが防止の為ゴムチップに張替え、20年目に大型遊具の交換、トイレをリニューアルしてタイルからクッションフロアーにして滑りにくいようにしたり、木製の扉に替え明るく衛生的にした。 ②令和4年度の利用者アンケートでテラスのゴムチップが靴下についてしまうとの意見があり、暑くなる前にテラスのコーティングを行った。 ③給食室においては最新の調理器具を導入していろいろなメニューができるようになった。 ④常に園児の安全と発達を促す工夫をしている。			
	担当課記入欄	【特記事項】 1 2 委託料の健全な運用 当初予算に計上していなかったが、令和4年度途中にICTを導入した。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】 【改善すべき点】 ①増減理由で補正予算の誤りという増減理由が散見されるため、予算精度を高める必要がある。 ②人件費や長期修繕などの計画の立てやすいものについては、資金計画があってもよい。			
	【その他注意点】				

令和5年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
事業効果	利用者の満足度（アンケート調査等による）	利用者の満足を得られているか			
		1 4 サービスの質の評価 (1) 福祉サービス第三者評価や利用者アンケート等、サービスの質の向上のための取組をしている	5	5	×13 4.69
		1 5 保護者・地域への対応に関する評価 (1) 福祉サービス第三者評価等において、信頼関係に関する項目（職員の接遇や対応、トラブルの対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 5	
		1 6 保育内容に関する評価 (1) 福祉サービス第三者評価等において、保育事業内容項目（食事や保育時間の変更への柔軟な対応など）について高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 5	×4 5	
		1 7 施設内容に関する評価 (1) 福祉サービス第三者評価等において、施設の項目（安全対策や清掃・整理整頓等）で高い評価を受けている（当該年度の利用者アンケートに相当する項目がない場合は、直近の福祉サービス第三者評価の該当項目による）	×4 4	×4 4	
		合計点(満点65点)	61.0	61.0	
	指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】</p> <p>1 4 サービスの質の評価</p> <p>①令和4年度は利用者アンケートを実施（回収率81%）。</p> <p>②アンケート結果は各家庭に配布している。</p> <p>③保護者からの意見、要望については改善に向けた取り組みを実施し、施設や設備の改善はできるだけ迅速に行った。</p> <p>④園のしおりの持ち物の部分が分かりにくいとの意見があり、よりわかりやすいように工夫した。</p> <p>⑤令和5年度よりバピーナを導入し、緊急時の連絡ツールとして使用。</p> <p>⑥保護者が園だより等の手書きの良さを評価して下さる方もいるため、園だよりやお知らせ、連絡帳は検討中である。</p> <p>⑦意見、要望、苦情、不満を解決する仕組みについては、より保護者に仕組みを知ってもらえるよう、園長がクラス別懇談会で説明したり、コミュニティボードにて知らせている。</p> <p>【改善すべき点・課題等】</p> <p>1 4 サービスの質の評価</p> <p>令和5年度も利用者アンケートを実施し、引き続き保護者の意見に耳を傾けより良い保育園づくりをしていきたい。</p>			
	担当課記入欄	【特記事項】			
	評価委員記入欄	<p>【評価すべき点】</p> <p>保育内容について高い評価が得られている。</p> <p>【改善すべき点】</p> <p>【その他注意点】</p>			

令和5年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特になし場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点			
事業効果	事業の取組み	保育の状況	指定管理者	担当課	評価委員	
		18 保育の基本原則 (1) 保育内容が適切である	×2 4	×2 3	×8 3.75	
		19 人権の尊重 (1) 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育を行っている (2) 虐待等の行為をしていない	×2 4	×2 3		
		20 全体的な計画・指導計画の作成 (1) 全体的な計画、長期的・短期的な指導計画を作成している (2) 3歳未満児について、個別指導計画を作成している	×4 4	×4 4.5	×4	
	合計点(満点40点)			32.0	30.0	30.00
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 18 保育の基本原則 ①子どもの発達の姿を理解して一人一人を受容し、自己肯定感を育てることを大事にしている。 ②区のガイドラインを活用して定期的に学び合い、振り返りを行っている。 ③子どもの発達に合わせて、興味関心を引き出し子どもが主体的に動ける環境を工夫。 ④特に0歳児は自分で玩具を選んで取り出せたり、一人一人の発達に応じた動きや仰向けやハイハイを促すような環境づくりを工夫している。 ⑤保育者も応答的な関わりや子どもの遊びを静かに見守ることを大事にしている。 ⑥園庭には乳児クラスの遊具のスペースがあり安心して遊ぶことができる。 ⑦大型遊具や鉄棒や雲梯、ブランコでのびのびと体を動かしたり、畑では友達や保育者と一緒に虫探しや植栽を楽しんでいる。 ⑧長時間保育でも楽しくゆったりとした時間を過ごせるよう遊びの環境等を会議で話し合っている。 19 人権の尊重 ①保育者は子どもへの言葉掛けや子どもとのやりとりも肯定的にして、声の大きさにも意識している。 ②子どもの人格を尊重した保育を行えるよう定期的に振り返りシートを使用している（年に2回）。 ③令和4年度はオンデマンドで『人権』研修を14人受講。 20 全体的な計画・指導計画の作成 金曜日に週かり会議を実施し、各クラス担当が集まり次週の活動を伝え合い、ホールや園庭等の共有スペースでのクラスの活動が重ならないようにしている。				
		【改善すべき点・課題等】 18 保育の基本原則 引き続き、遊びの環境を工夫していきたい。				
		【特記事項】 18 保育の基本原則 園庭あそびでは、やって良いこと悪いことや行ってはいけない場所を言葉で伝え、その都度子どもに注意していたため、子どもが主体的に安心して遊べる環境設定が必要。 19 人権の尊重 シャワー準備のための着脱や移動では、指示する声掛けが多く、背中や肩を押して導く場面も見られた。 20 全体的な計画・指導計画の作成 各クラスの活動予定が一覧できる工夫をしている。				
	評価委員記入欄	【評価すべき点】				
		【改善すべき点】				
【その他注意点】						

令和5年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
事業 効果	事業 の取 組み	保育の状況			
		2 1 指導計画の展開 (1) 指導計画に基づき保育が行われている (2) 指導計画に基づき保育内容を見直し、改善を図っている (3) 保育日誌があり、子どもの成長や日々の活動、保育の振り返りを記録している	×2 4	×2 4.3	×6
		2 2 保育環境 (1) 安全・安心な保育環境が整えられている	×2 3	×2 3	4.10
		2 3 小学校との連携 (1) 就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料を確実に送付している (2) 地域の小学校等と課題の共有をしたり、交流活動を実施している	×2 5	×2 5	
		合計点(満点30点)	24.0	24.6	24.60
		【アピールポイント】			
		2 1 指導計画の展開 期ごとに各クラスが年間指導計画に基づき評価・反省し、冊子にまとめ職員会議で振り返りをしている。			
		2 2 保育環境 幼児クラスは保育室の環境（保育室の使い方 水回り ロッカーや引き出しの使い方）を統一し、保育室の生活の動線も基本的に同じにしている為落ち着いて生活ができています。			
		2 3 小学校との連携 ①保育要録を届けた際には、園での姿や対応などを伝えている。 ②小学校との交流活動は1年生の学習発表会を見学したり、手作りの『小学校生活のガイドブック』を通して、小学校生活を知る機会となり入学への期待が膨らんだ。 ③5歳のクラスだよりに毎月、就学に向けてのひと言アドバイスを載せた。			
		【改善すべき点・課題等】			
2 3 小学校との連携 幼保小連携ブロックでの連携校が同じ保育園の5歳児クラスの交流を実現したい。					
【特記事項】					
2 2 保育環境 昼食準備の際、子どもが狭い場所で姿勢悪く、自由画帳に絵をかいていたため、環境の改善を要する。					
2 3 小学校との連携 連携小学校の1年生から手作りガイドブックが届けられており、保護者も手に取り見られるように、掲示していた。					
【評価すべき点】 小学校との連携が図れていることは評価できる。					
【改善すべき点】					
【その他注意点】					
	指定 管理 者 記 入 欄				
	評 価 委 員 記 入 欄				

令和5年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
事業 効果	事業 の 取 組 み	食事提供の状況			
		2.4 食育計画 (1) 食事の提供を含む食育計画を全体的な計画に基づいて作成している	×2 4	×2 5	×6 4.37
		2.5 食事計画 (1) 食事による栄養摂取量の基準を活用した食事計画を策定している (2) 給与栄養量の目標を設定している (3) 定期的に施設長を含む関係職員が参加の上、給食（献立）会議等による情報の共有を図っている	×2 4	×2 4.7	4.37
		2.6 食事の提供 (1) 児童の状況に応じた食事の提供を行っている (2) 食物アレルギー対応マニュアルを整備し、マニュアルに沿って対応している	×2 5	×2 3.5	
		合計点(満点30点)	26.0	26.4	26.22
	指定 管理 者 記 入 欄	【アピールポイント】 2.4 食育計画 ①毎月ごはんだより（給食だより）を発行、人気の献立や旬の食材を使った献立レシピを紹介している。 ②給食担当者はクラスを回り旬の食材や献立、咀嚼について伝え、食への興味関心を育てている。 ③食育では今日の旬の食材クイズや料理保育、植栽、野菜の皮むき、豆のさやむき等野菜の下処理（2歳～5歳児クラス）野菜クイズ(匂いあて)を行う。友達と楽しみながら行うことでより野菜への関心が高まった。 ④毎月、リクエストメニューとして5歳児が給食担当者と一緒に献立作りを行っている。 ⑤様々な食育体験を通じて、野菜等食材や調理に興味関心を持ち、食を楽しむきっかけづくりになっている。 2.5 食事計画 月に1回献立会議を行い、そこで出た意見から2回目の食材の大きさや調理方法を変更した。 2.6 食事の提供 ①年度初めの会議でアレルギー児や疾病による除去児等に対する給食提供の仕方を確認（土曜保育の給食提供までの流れは土曜ファイルにはさんでいる）。 ②誤食等の事故発生時の対応の仕方やエビペンの使い方も学んでいる。 ③献立に除去がない場合もマニュアルに沿った確認を行っている。 ④食事の介助をする際に注意すべきポイントを確認し、一人ひとりに合わせて丁寧に関わるようにしている。			
		【改善すべき点・課題等】 2.4 食育計画 ①食育を実施した時の記録を作成する。 ②調理保育の実施を増やす			
		【特記事項】 2.5 食事計画 ①5歳児リクエストメニュー・旬の食材表など工夫が見られ、食に興味関心が持てるよう取り組んでいる。 ②0歳児について、保護者会で離乳食の試食を実施し、園で提供される離乳食を保護者に情報提供している。 2.6 食事の提供 食物アレルギーについて、食事の提供がクラスによってバラバラであるため、改めてマニュアルに沿った対応を徹底する必要がある。			
	評 価 委 員 記 入 欄	【評価すべき点】 離乳食試食などは、保護者にとってありがたい取り組みである。			
		【改善すべき点】 食物アレルギーに関して、マニュアルに沿った対応を徹底すること。			
【その他注意点】					

令和5年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点			
事業効果	事業の取組み	健康・安全への状況	指定管理者	担当課	評価委員	
		27 園児の健康管理	×2	×2	×6	
		(1) 保健計画を作成している (2) 健康診断を適切に行っている (3) 日々の健康状態を保護者と共有している	4	4		
		28 乳幼児突然死症候群の予防	×2	×2		
		(1) 乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防及び睡眠中の事故防止対策を講じている (2) 午睡チェック表を作成している	4	5	4.67	
		29 虐待等への対応	×2	×2		
		(1) 児童虐待・ネグレクト等の早期発見のために子どもの心身の状態等を観察している (2) 虐待が疑われる場合や不適切な養育の兆候が見られる場合、適切に対応している	3	5		
		合計点（満点30点）	22.0	28.0	28.02	
		【アピールポイント】				
		27 園児の健康管理	①全体的な計画に基づき保健計画を作成。 ②健康診断や歯科健診を適切に行い園の記録に残し、保護者に結果を伝え、治療が必要な時は受診勧奨をしている。 ③看護師が集会等でプール遊びや歯の衛生指導、冬の健康生活などについてわかりやすく伝え、子どもたちが健康に関心を持ち、正しい生活習慣を身に付けられるよう配慮している。 ④毎月、保健だよりを発行している。 ⑤「ハロー！6ちゃんクラス」を実施。保護者にもクラスだよりを通じて歯を守るポイントを伝えた。 ⑥感染症発生時にはコミュニティボードにて知らせている。			
28 乳幼児突然死症候群の予防	①午睡チェック表は姿勢を直したことがわかるように記録をしている。 ②消防署による応急救護訓練を実施。心肺蘇生法やAEDの使い方を学び、緊急時の適切な対応に備えている。 ③SIDS訓練を実施。 ④看護師や0歳担任が中心になり他クラスの職員も参加して様々な状況を想定し行っている（年11回実施）。 ⑤幼児クラスが中心になり、幼児緊急訓練を実施（アレルギー児の誤食、遊具での事故、プールでの事故を想定したシュミレーション訓練）。 ⑥いずれの訓練も会議で訓練前に訓練内容を共有、訓練後は振り返りを行っている。					
29 虐待等への対応	①児童虐待に関しては会議で児童虐待予防・養育支援マニュアルを使用して学び、年に2回、保育実践振り返りシートを使用して対応の確認をしている。 ②児童相談所から連絡があった場合は記録に残している。 ③引き続き児童虐待の早期発見、迅速な対応に努めたい。					
【改善すべき点・課題等】						
27 園児の健康管理	保健指導の実施時の記録を作成する。					
【特記事項】						
28 乳幼児突然死症候群の予防	SIDS訓練を看護師や担任を中心に毎月実施している。					
29 虐待等への対応	ガイドライン振り返りシート(虐待編)を年2回チェックし、虐待の早期発見に努めている。					
【評価すべき点】	事故防止、虐待発見の工夫がされている。					
【改善すべき点】						
【その他注意点】						
担当課記入欄						
評価委員記入欄						

令和5年度 指定管理者評価シート（さつき保育園）

【評価点】 5（水準を大きく上回る） 4（水準を上回る） 3（水準どおり） 2（水準を下回る） 1（水準を大きく下回る）

※ 各記入欄については、特にない場合は記載していない。

大項目	中項目	確認項目	評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
事業 効果	事業 の 取 組 み	健康・安全の状況			
		30 保育室衛生管理 (1) 保育室、トイレ等設備が清潔である (2) 施設内にある用具（寝具、玩具等）が清潔である (3) 感染症の予防対策を講じている (4) 保育士の衛生管理を適切に行っている	×2 4	×2 5	×6 6
		31 調理衛生管理 (1) 調理従事者の衛生管理を適切に行っている (2) 調理室等が清潔であり、食材の管理も適切に行っている (3) 調理従事者及び調乳担当者の健康チェックを毎日行っている	×2 3	×2 3	4.00
		32 安全確保 (1) 保育中の事故発生防止に取り組んでいる (2) 事故が発生した場合に適切に対応している	×2 4	×2 4	
		合計点(満点30点)	22.0	24.0	24.00
	指定 管理者 記入 欄	【アピールポイント】 30 保育室衛生管理 ①保育室やトイレ等の掃除、設備や玩具等の消毒は日々の清掃チェック表を用いて確認している。 ②感染症の予防対策として健康観察や手洗いを丁寧に行っている。 ③蚊の防除を業者に依頼しているが、職員も会議で蚊の発生を予防するポイントを学び、発生予防に努めている。 ④嘔吐処理の方法は職員、非常勤職員が看護師より学び、誰もが正しい処理ができるよう努めている。 32 安全確保 ①年度当初の会議で事故防止及び事故発生時対応マニュアルを使用して子どもの特性や事故防止の取り組みを学び、事故防止に対する意識を高めている。 ②事故が起きた時を想定した訓練も行い、訓練前にねらいや訓練内容を会議で伝え、訓練後は振り返りを行っている。 ③ヒヤリハット報告が増えてきており、ヒヤリハットした経験を共有し事故防止につなげている。 ④ヒヤリハットは職員の目につく場所に貼り出し、また、定期的に回覧。会議でも再発防止策など共有している。 ⑤令和5年度に安全計画を作成。 ⑥点検や訓練等を安全計画に基づき実施して児童の安全確保に努めたい。 ⑦防犯カメラ、電子錠を設置。 ⑧園内も職員休憩室、保健室等子どもが入らないよう必ず鍵を閉めている。			
		【改善すべき点・課題等】 32 安全確保 危機管理マニュアルを見直す。			
		【特記事項】 32 安全確保 ①事故発生時対応マニュアルに基づき記録簿を作成している。 ②散歩記録簿やヒヤリハット・事故簿など、朝礼や職員会議で情報の共有をし事故防止に努めている。			
	評価 委員 記入 欄	【評価すべき点】			
		【改善すべき点】 ①衛生に関する事故が起きぬよう、研修受講の機会を確保する必要がある。 ②清掃チェック表は「✓」ではなく、担当した人のサインとするべき。			
【その他注意点】					